

市長の施政方針に対する質問

Q 給食費の一部無償化について、すべての子どもが対象ではないのか。

A 児童生徒700円分の市負担を継続するとともに、市内小中義務教育学校に2人以上通学者がいる世帯に対し、2人目以降の給食費を無償化するものですが、まだ十分な財源確保ができておらず、部分的な補助となっております。少子化問題の中で、多くの子どもを産み育てていくことを応援すべきという観点から、経済的により多くの負担感があるご家庭を先に対象とさせていただいたものです。

Q 市民窓口機能を千代田ショッピングモール内に移転するにあたり、利便性確保の具体策は。

A 市民にとって利用頻度の高いショッピングモール内に市民窓口センターができることは、買い物のついでに市役所の窓口手続きができるなど、利便性は高まるものと考えております。また、交通結節点としても便がよく、利用者の駐車場も十分な面積が確保されておりますので、期日前投票所や税の申告相談会場といった多くの市民が訪れる際の駐車場の混雑解消も見込まれます。そして、案内表示については、外国人を含め誰にとっても分かりやすい表示といたします。お子様連れの方への配慮といたしましては、ベビールームでの粉ミルク用のウォーターサーバーの設置を図ってまいります。さらに、立って利用するカウンターと座って利用するカウンターを併設し、様々な方への配慮を行ってまいります。また、霞ヶ浦窓口センター及び千代田出張所に来庁される方とも、ビデオ通話を通して専門的な書類の申請手続等ができる遠隔窓口システムの導入を検討しており、市民窓口センターを直接利用しない方の利便性も向上させたいと考えております。

Q (仮称) 千代田パーキングエリアスマートインターチェンジ周辺の道路整備についての考え方は。

A (仮称) 千代田パーキングエリアスマートインターチェンジに接続する県道土浦笠間線については、同スマートインターチェンジが開通することで、交通量が増加することが予想されます。県道土浦笠間線には、狭く、歩道のない部分もあることから、拡幅及び歩道整備について、茨城県土木事務所を通じて、県議会議員で構成する土木企業立地推進委員会へ要望し、また県政に対しても県市長会を通じて要望を行っており、なるべく安全が向上するように進めてまいります。周辺道路につきましても、スマートインターチェンジ整備による物流の効率化や、将来を見据えた周辺地域の動向等も考慮し、整備を検討してまいります。

Q 霞ヶ浦ガストロノミーツーリズムの概要は。また、地元産業にどう関係していくのか。

A 現在、かすみがうら未来づくりカンパニーにおいて古民家宿改修を進めており、古民家宿を拠点としながらインバウンドや富裕層をターゲットにし、霞ヶ浦地域特有の食と本市の自然、文化、歴史などを感じてもらう旅と考えております。このような食と地域の体験を組み合わせた取組みは、霞ヶ浦周辺においては先駆けとなります。こうしたことから、霞ヶ浦周辺、ひいては県南地域の観光を牽引する事業となることを目指しているものです。霞ヶ浦ガストロノミーツーリズムは、本市の豊かな地域資源に付加価値をつける取組みの一つです。このような地域の資源を活用した取組みが地域の魅力を高め、ふるさと納税額を増加させ、さらに増加額を財源として新たな事業に取り組むといった好循環を目指してまいります。